



## 第六十一号



神道青年四国地区協議会第16回神道行法鍊成会 於石鎚神社

## 愛媛県神道青年会

事務局 〒791-8063

愛媛県松山市神田町1-7

三津 嶽島神社内

TEL 089-951-1471

FAX 089-951-2220

URL <http://www.ehimeshinsei.net/>



岡山縣護國神社にて正式参拝

## 第一回 中国・四国合同会

平成二十三年三月の東日本大震災の記憶。激しい揺れと襲い来る津波のあの光景。そして変わり果てた町並み。誰しもが予想し得なかつたあの衝撃はまだ記憶に新しいことと 思います。そして今、警戒すべきが東南海地震です。太平洋側の西日本を中心に関東から九州まで広い範囲での被害が想定されるこの地震。愛媛県でも高い津波と激しい揺れに襲われる事が予想されています。そこで、愛媛は元より被害想定範囲の四国地区と隣の中国地区的青年会が合同で、地震発生時の連携を強めようと、

この岡山県神社にて開催された「中国・四国合同会」は、十六時に一同が集合して顔合わせの自己紹介が始まりました。その席で、十亜博行四国地区顧問は、次のようにおっしゃいました。

「東日本大震災後の支援は日本海側から太平洋側へ、山を越えての支援が多数あつた。近くの地区の連携がより大事なこ



自己紹介の後、和やかな雰囲気の中で会が進んだ

と。これを身を以て感じた

なるほど、四国は三本の橋でしか本州

と繋がっていない。まさに近隣地区との連携は非常に大事だと身に染みました。さて、この合同会は、四国からは高知県の吉野慶四国地区会長を筆頭に二十名の参加となりました。愛媛からは長曾我部信監事・清家貞文会長・十亜雅史副会長・柳原永祥副会長・十亜博行前四国地区会長と私が参加しました。そして中国地区は鳥取・島根・山口・広島・岡山から三十三名の参加となりました。

岡山県神社にて顔合わせの後、お隣の岡山縣護國神社にて正式参拝が斎行されました。周りは森に囲まれ緑豊かな境内に心を癒されました。

今後いかに連携を深めるかは各地区の代表が会議で決ることとなりましたが、いずれにしてもこの地震対策に関しては、国家のそして日本国民の永遠のテーマではないかと思います。

今回お世話をいただきました中国地区の皆様をはじめ、会場を提供してくださいました岡山県神社の皆様、並びに岡山縣護國神社の皆様方には大変に感謝を申し上げると共に、さらなる連携強化を計りたいと深く感じた合同会でした。

（田辺 大朗）



## 愛媛県神道青年会 会長 清家 貞文

明けましておめでとうございます。  
先ず以て、平成二十六年の新春を迎  
え謹んで聖寿の万歳と皇室の御誕生日を御  
祝い申し上げ、各御社頭の御隆昌、皆  
様方の御多幸をお祈り申し上げます。

昨年、神宮に於かれましては第六十二回式年遷宮「遷御」の御年でござ  
ました。二十年に一度の嘉節を日本国民  
挙つてお慶び申し上げましたことは誠に有難く、本年は次の第六十三回に向  
けて新たな一年を踏み出したところ  
でございます。

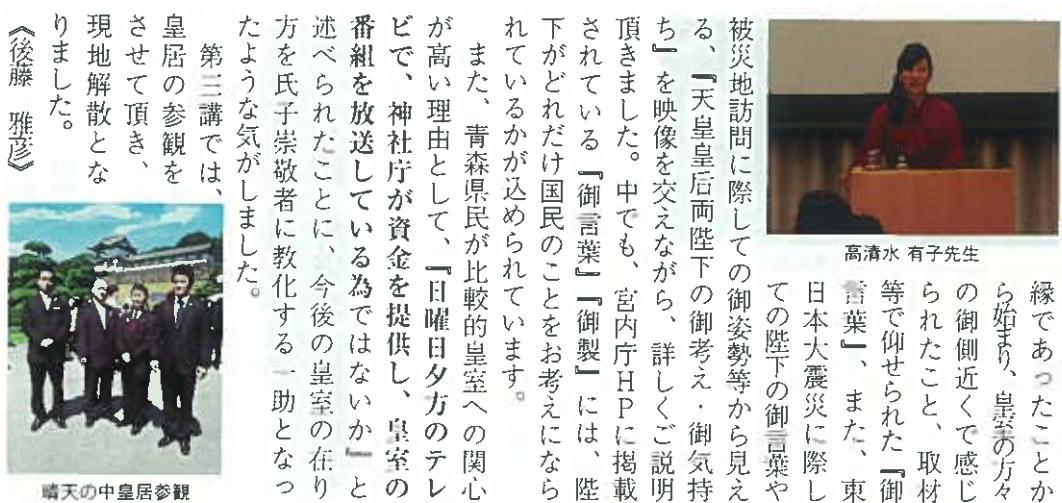
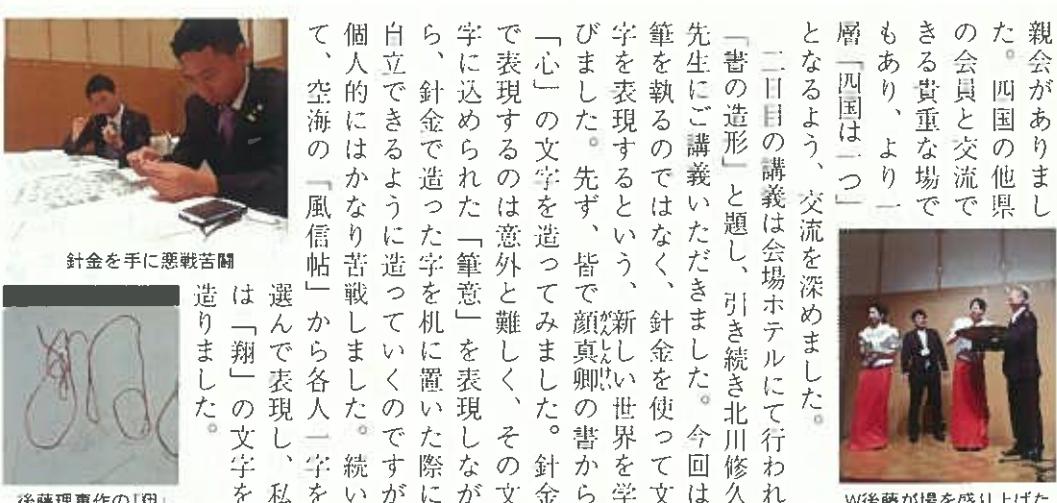
さて当愛媛県神道青年会は今期の目標として「会員出席率五割の実現」、「各事業への新規参加者五名以上」を掲げております。今年度は、日頃当会の活動になかなか参加の出来ない会員向けに、先ずは一人でも多くの神青会員と出会つて語り合う「会員交流親睦会」を東予・南予・南予そして県内統一で開催しました。また女子神職会の井上初美会長、横田貞子前会長にも御理解を賜り、男性と同様に四十歳以下の女子神職の皆さんにお声かけをさせて頂きました。

お蔭を以ちまして初めて御参加頂いた方も多く、充実した時間を過ごすことが出来ました。そして当会の活動内容や方針を御理解頂き、青年という若くて限られた時間を共に過ごし、親睦も深められたことと思ひます。今後は新年研修会、新年互礼会など、大小さまざまな事業にご参加をお願い申上げます。

また、来る平成二十七年には神道青年四国地区協議会が二十周年を迎えます。愛媛県内はもとより、四国四県が一丸となって事業にあたらなければなりません。

私の好きな言葉の中に「一期一会」があります。元々は茶道の心得を表した語ですが、日本の神社神道の和の精神にも通じるところがあります。「この一瞬を大切に思い、今出来る最高のおもてなしをする」四國のお遍路さんのおもてなしをする、四國のお遍路さんの「おせつたいの心」でもあります。四十歳までという限られた時を大切に、積極果敢に取り組んで頂くのが私の会長としての夢であり願いでもあります。県内の若手神職の皆様のご参加をお待ちしております。

結びにあたり、御社頭の御隆昌と皆様方の御健勝をお祈り申し上げますと共に、今年一年が良き御年となりますことを心から御祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。





佐藤 豊先生



後藤 雅彦副会長が助彦を務めた

夏の禊の方が危ないから!』と助言を頂き、徐々に震えが止まり一同集中して行を行うことができました。

その後、鎮魂行事を行い、気が付けばあつという間に閉講式を迎えていました。あんなに時間をかけて準備したのに…。佐藤先生からは『皆さん昔の受講生に比べると随分真面目ですね。』とお褒めの言葉を頂き、充実した練成会となりました。

他県の方からはもう少し時間が長い方が良かつたとの意見を頂き、反省点である事は勿論ですが、それだけ良い練成会であつたと前向きに捉えています。

心身を清める禊。『古事記の中で中心的存在となる三貴神がその最中に生まれた事からも、重要な儀式ということが分ります。

日々の業務に追われがちになる毎日ですが、身を清めて神明奉仕に励むことの重要性を考えさせられました。

かく。』と府長がお話しされていたように神道では清浄というものを常に意識して行事が行われており、先ずお祓いをして祭典が始まることは勿論のこと、大祓や節分等、年間行事でもその傾向が見られます。



地下から汲み上げられた石鎧の水は夏でも冷たい



金美齢先生

かる。』と府長がお話しされていたように神道では清浄というものを常に意識して行事が行われており、先ずお祓いをして祭典が始まることは勿論のこと、大祓や節分等、年間行事でもその傾向が見られます。

会が始まってからは、交代で駐車場の警備に当たりながら、講演も拝聴することができました。金美齢先生の講演『日本再生』では、先生の『これから日本は変わる』との力強いお言葉に、感銘を受けました。

今回の経験や出会いを無駄にせず、神職としての心構えを忘れずに日々鍛錬し、神道の伝統を守りたいと思います。

（柳原 永祥）

## 第四十九回 全国神社総代会 愛媛大会 助勢報告

去る九月十日、松山



敬神生活の綱領を唱和する  
清家会会長

市のひめぎんホール(県民文化会館)で全国神社総代会が開催されました。私は、愛媛県神道青年会の一員として

などを助勢させていただきました。

私は神職資格を取つてまだ間もなく、青年会の活動自体初めての参加でしたので、右も左もわからぬ状態でしたが、皆さんが親切に教えて下さり、一緒に参加資料をまとめたり、県別の座席の確認などをしたりしてきました。開催時間が近づいてからは、入り口や駐車場での誘導に当たりました。

会が始まってからは、交代で駐車場の警備に当たりながら、講演も拝聴することができました。金美齢先生の講演『日本再生』では、先生の『これから日本は変わる』との力強いお言葉に、感銘を受けました。

今回の経験や出会いを無駄にせず、神職としての心構えを忘れずに日々鍛錬し、神道の伝統を守りたいと思います。

青年神職の未来を開く第一歩は年会費の納入から

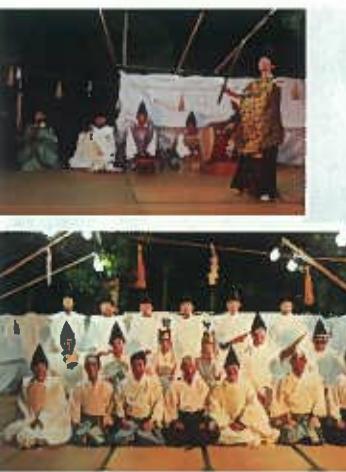


舞姫は石鎧神社の巫女さんに務めていただいた

去る九月六日、八幡浜市日土町に鎮座致します鹿島神社において、「観月神楽の夕べ」が開催されました。日程の都合により中秋の名月の下での開催とはなりませんでしたが、境内の木々に覆われるよう設えられた会場が市内外よりご参集をいただいた大勢の方々で賑わう中、午後六時半より奉納演奏が開始されました。はじめに鹿島神社菊池宮司様より御挨拶をいただき、清家会長の挨拶の後、次の通りの演目が奉納されました。

## 第二十一回 観月神楽の夕べ (八幡浜市 鹿島神社)

- ・浦安の舞 (神楽舞)
- ・神躰鉾女之舞 (伊予神樂)
- ・越殿樂 (管絃)
- ・樂器紹介 (雅樂器)
- ・陪臤 (管絃)
- ・悠久の舞 (神樂舞)
- ・式參番鈴之舞妙剣之舞 (伊予神樂)
- ・ふるさと合唱



地域のお年寄りや子どもたちに楽しんでいただいた

最後に悠久の舞で使用した花束を鹿島神社宮司様・総代様に贈呈し、総代様の御挨拶にて締めくくられました。演奏の途中には清家会長による解説等も挟みながら観客の皆様に神楽や雅樂に親しんでいただき、「ふるさと」ではご参集の皆様と共に合唱するなど、神人和

樂の演奏が奉納されました。末筆乍ら菊池宮司様をはじめ総代の皆様、御協力頂きました関係者各位に、大なるお力添えを賜りましたこと厚く御礼を申し上げます。

（古川龍太郎）

## 第十六回 神道行法鍊成会

九月十二日、石鎧神社に於いて第十六回神道行法鍊成会が開催され、四国地区より三十名が参加しました。

今回が最後と明言されている佐藤豊先生より貴重な講義を受け、その後の大役を担う後藤雅彦先生を道彦とし、禊を行いました。曇り空の下、気温は高く体も温まっています。水温のことには気にせず禊場に向かいましたが、石鎧の清らかな水は想像以上に冷たく、肩までつかると体が震えだす会員が続出。状況を見た佐藤先生から



正式参拝に向かう参加者たち

ので、水温のことには気にせず禊場に向かいましたが、石鎧の清らかな水は想像以上に冷たく、肩までつかると体が震えだす会員が続出。状況を見た佐藤先生から

観月神楽・慰問神楽の開催神社・団体募集中





## 三島森田両烈士追悼 四十三周年慰靈祭

平成二十五年十一月二十五日、午後五時より愛媛県護國神社東参列殿において、三島由紀夫・森田必勝両烈士四十三周年慰靈祭が厳かに執り行われました。

斎主後藤雅彦副会長の下、当会より祭員・伶人計八名が奉仕し、日本会議様より十三名、愛媛県護國神社様より十五名のご参列を賜わりました。

一名のご参列を賜わった。今年多くの方にご参列いただいた。当青年会からも二名ご参列いたしました。

斎主後藤雅彦副会長の下、当会より祭員・伶人計八名が奉仕し、日本会議様より十三名、愛媛県護國神社様より十五名のご参列を賜わりました。



昨年に引き続き本年も、日本会議愛媛県本部相談役である重松恵三様にご講話を頂きました。かつて三島由紀夫と親交をお持ちであった立場から発せられるその



重松恵三様には三島由紀夫烈士が本当に日本人に訴えたかったことについて、交流秘話を交えお話をいただいた

お話は、少年時代からの三島文学愛読者として興味深く、初めて奉仕させて頂いたということもあり、大変意義深い経験となりました。

少年時代の私が三島由紀夫の文学に見たものは、一つに堅固で壯麗な文章表現の正統性であり、一つにトーマス・マン流の西歐的で徹底した二元論であり、一つに「男らしさ」、「女らしさ」、「日本人らしさ」等のアイデンティティを厳しく追及する姿勢でした。

情報技術の発達と普及により国際化が身近になりつつある現代社会にあって、我々は他文化との接触から生じる相互



遷御の儀を持つ正宮

十月一日、川原大祓は、辛檻奉昇  
十月二日、遷御は、松明奉仕（参列員）  
臨時出仕（私）の奉仕所役

一日、午後四時、池田原子祭主・大官司以下参進。司以降、祭員数で一〇〇名を超えた。明日の祭儀に使用する祭具・祭主以下奉仕員を

出御され外玉垣南御門の御扉が閉じられた時の音は今でも耳に残つており、参拝者の拝む対象であつた旧正宮は静まり、それと同時に新宮では、庭燎の火が煌々と正宮を照らし、新しい気が感じられました。このような機会を頂戴できましたことに深く感謝すると共に、神主として「祈り」の大切さを感じ、感謝し祈念する祭典の心は、神代の昔から変わることのない日本の心だと思いました。

《十亀 雅史》

第六十二回式年遷宮の御年を迎えて、選出していただけ栄誉に浴しました。私は愛媛県神社より県内四十歳以下の神主の中から選出された。届いた時は、素晴らしい機会を頂戴し有難い気持ちになりました。

臨時出仕（私）の奉仕所役

十月一日、川原大祓は、辛檻奉昇  
十月二日、遷御は、松明奉仕（参列員）  
臨時出仕（私）の奉仕所役

遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷

## 神宮式年遷宮遷御の儀 臨時出仕奉仕報告



臨時出仕を務めた他県の仲間と  
祓い、その後臨時出仕は辛檻前に  
移動し、そ



愛媛県神道青年会  
会長 清家 貞文

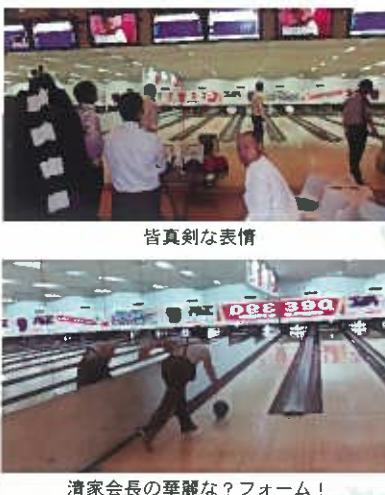
## 遷宮委員の思い出

第六十二回神宮式年遷宮の啓発活動の一環として平成十九年に初めて全国各地に遷宮委員が設置されました。四国地区では「一般の方に神宮のお話を聞かせる為には、先ず自分達が神宮のことを知らねばならない」という観点から、神宮の神職様をお招きして基調講演・パネルディスカッションを開催しました。

また、神青協事業「神主さんの伊勢街道参宮用」全国の「こころ」を絵馬に託して「に県代表として参加。四日市の追分から内宮までの約八十キロを白装束に菅笠、柄杓を背中に差して三日間歩き通したのも良い思い出です。一緒に活動した委員とは今でも何かと御縁を頂いております。

次の式年遷宮でも遷宮委員が設置され、青年神職が遷宮啓発活動の一翼を担うことを願っております。

次の遷宮に向かって、神宮の尊さを氏子・崇敬者に伝えましょう



第九回 親睦ボウリング大会

け切り優勝。愛媛県は惜しくも二位で会長杯は再び高知県が持ち帰ることとなりました。

その後、懇親会は海の見えるアジアン料理屋にて行われ、三味線の生演奏や和太鼓とのセッションも披露され、香川県の趣向を凝らした「お・も・て・な・し」を一同堪能しました。

来年は愛媛県が担当し、中国地区との交流会も合わせて行う予定です。是非多くの方の参加をもつて中国・四国地区的青年神職を出迎え、親睦を深めていきたく思いますので、ご参加の程宜しくお願いします



柳原 永祥



この「コーナー」は、兼職しながらお社を守っている神膏会員を取材し、普段のお仕事や社務とのバランスの取り方などを紹介させていただく新企画なのですが、薬師神さんは旅行代理店にお勤めだとか。

薬師神（以下薬）はい。八幡浜市にある共盛社という旅行会社で働いています。普段は八幡浜港でフェリーの予約受付・乗車券販売の代理店業務、船舶出入航業務等にたっています。

一船の入出航も対応されるのですか。大変なお仕事ですね。しかし、なぜ旅行業界で働くことに?

File.01  
天満神社（八幡浜市）  
宮司 薬師神 敏鷲さん  
職種 旅行代理店

新連載  
それ行け！ 一足のわらじ

もとは、松山市でボイラ関係の企業に勤めていたので

すが、三十歳までには父の跡を継いで神社を守つてようと決めていました。神社の集まりにも顔を出してしましたので、八西支部の集まりで「跡を継ぐことや八幡浜で仕事を探していることを話していたところ川名津にある天満神社の宮本稚秋宮司さんから「ウチで働いてみるか」とお声がけいただいたのがきっかけです。今勤務している会社の社長は宮本宮司さんなのです。

—そういう御縁があったのですね。社長さんが神社関係者だと心強いですね。お祭りでの休みにも理解が得られやすいのでは?

薬 はい。忙しい職場なのですが、春秋の祭りや正月の時期など、ご配慮いただいて本当に感謝しています。職場のスタッフさん達も応援してくれますし、休みをとつても皆でカバーしてくれます。頭が上がりません。感謝・感謝です。

—足のわらじで大変なことはなんですか?

薬 そうですね。やはり時間の使い方でどうか。私の職場は港ですので、二十四時

間休むことがありません。勤務はシフト制で二十四時間二交代制です。そのため、夜勤務して早朝帰宅し、朝拝を行つてから寝るということが多いのです。働き始めた当初は、「寝た直後に地元の方から「ご祈祷を頼みたい」と訪ねて来られることが何度かありました。家族が「宮司は今休ませていただいています」と説明するのですが「あれ?さつき拝みよつたのにまた寝たの?」と不思議がられました(笑)。今は、地域の方にも私の仕事や勤務体系が知られましたので理解いただけるようになりましたが、当初はいろんな誤解があつたようです(笑)。一神職の立場から見て、この仕事に就いて良かつた点はなんでしょうか?

薬 職場に神職がいるということで、港で働くいろんな人が「お宮参りはどうしたらいいの?」「作法を教えてほしい」と聞きますに来てくれるんですね。社頭とは違う形で啓蒙活動や情報発信ができます。一般の人々が神社のことをどう認識しているか、どのような疑問を持つているかといったことがわかるのも勉強になります。

ー一般の人の本音に触れられるというのほ大きいですね。(←した生の声を神社での活動に生かして行きたいと思います。

「私も取り上げて！」そんなあなたをお待ちしております。常磐井



愛車はカワサキの「Z250

バイクを选んで、その土地を全身で感じることで、あるいは旅だと、いつかは必ずやるといふ。だから、この日を過ごしていな。

身体全体でその土地を知ることができるのがバイクの魅力」

「バイクの話になると、知らない人とでも一時間でも二時間でも話し込んでしまい

「バイクた  
と知らない土  
地に行くこと  
が楽しいんで  
す。海が近づ  
けば潮の香り  
で『もうすぐ  
海だな』とわかります。山に入れば目に飛  
び込む色で自然や季節を感じることができますし、風はその地域の気候を教えてくれます。身体全体でその土地を感じることができます。車とは見える風景が全く違  
いますね」

「宇和島は細い道が多いので、総代さんの家に届け物などに回る時、車だとなかなか駐車スペースがなくてとても時間がかかります。しかしバイクならサッと行つてサッと停めることができますし、一人で移動できますからずいぶん効率も上がります」

また、神社には時々遠隔地からのバイ

ンクを楽しんでいる。もちろんオフタイムでも神職。安全運転を心がけている。そして、プライベートだけでなく社務でも活躍しているという。

岡本さんがバイク好きになつたのは、皇學館大学に入学した十代の頃。寮住まいとなつた岡本さんの自に入つたのは駐輪場に置かれた一台のバイク。先輩が後輩たちにと置いていつた原付バイクだつた。

「レーサータイプの非常に乗りにくいくことで有名なバイクでした」

乗つてみるとアクセルの回転数を間違えるとすぐにエンストしてしまうようなじゅしゃ馬。それを何とか乗りこなそうとするうちにおもしろさに田覚め、好きになつていった。

岡本君の出番だ。マシンの話から近隣のツーリングスポットなど話題には事欠かない。

「その人が乗っているバイクの種類、イヤの減り具合などを見れば、どんな乗り方が好きで、どんな人なのがわかります。まずはバイクを見て、その人に合ったスポットを紹介しています。南予を好きになつて欲しいですからね」

宇和島には昨年高速が開通したばかり。岡本さんが活躍する機会もこれからどんどん増えていきそうだ。

# 新年研修会・新年互礼会のご案内

(目時)

平成26年1月21日(火曜日・友引)

午後16時30分より研修会(受付開始16時)  
午後18時30分より新年互礼会(受付開始18時)

【会場】国際ホテル松山

## 研修会テーマ:「家訓づくりプログラム」 ～次世代へ伝えたい大切なことば～

講 師：石鎚神社 櫻宣 十亀 博行 先生

今年度の新年研修会は、神青協夏期セミナーでも実施され

今年度の新年研修会は、神青協夏期セミナーでも実施され、好評だった「家訓づくりプログラム」です。自分たちの祖先が残した家訓を今一度思い返すとともに新たな家訓を作り出し、子孫に伝えていく講座です。

社頭での教化活動のために非常に役に立つ分かりやすい内容となっており、どのように指導していけばよいのか、自分が講師になった場合の進め方もお伝えします。ぜひご参加ください。

講師は、当会OBで元会長でいらっしゃる十亀博行先生です。十亀先生の御厚意により、神青会員以外でも参加可能となっています。ぜひご家族でご参加ください。

〈問い合わせ先〉愛媛県神道青年会事務局（三津 厳島神社内）

TEL : 089-951-1471 FAX : 089-951-2220

※申し込み期限：1月10日迄

結婚報告

我こそは「こだわりの趣味を持っている！」という方、ご一報を。

## 神道青年全国協議会

### 中央研修会のご案内

平成二十五年度神道青年全国協議会中央研修会が左記の日時に執り行われます。

【日時】

平成二十六年三月六日（木・先勝）

七日（金・友引）

【主管・担当】北海道神道青年協議会

※出発は三月五日となります。

同研修会では、東海大学教授の山田吉彦先生、俳優の津川雅彦先生、ジャーナリストの大高未貴先生による講演が予定されています。これからのお仕事にとつて必要な話が拝聴できる他、全国の同志が集まる貴重な機会です。多くの会員のご参加をお待ちしております。（講演の詳細は愛媛県神道青年会HPに掲載します）

※申し込みは事務局まで

締め切り  
一月二十一日

新年研修会・互礼会迄

平成二十四年度 助成寄付御芳名

金貳萬參阡圓也  
早虎神社

立野 好仁 殿

千葉県の生まれ育ちであります。三年前母方の郷里である愛媛県に移り、村山神社にて権禰宜を拝命いたしました。まだまだ未熟者ですが、精一杯神明奉仕の道を歩んで参りますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

訂正

若竹第六十号十八頁「平成二十四年度助成寄付御芳名」「南予」に掲載の「神社序 宇和島支部宇和島分会」様は、正しくは「神社序 宇和島支部宇和島市分会」でした。訂正するとともに謹んでお詫び申し上げます。

## 新入会員紹介

村山神社 権禰宣

※総会出席者

古川 龍太郎



## 昔の若竹を探しています

当会では、会報誌「若竹」が創刊60号を迎えたのを機に、「若竹」の永年保存作業を進めています。調査の結果、初期の号の多くが欠号していることがわかりました。

そこで当会では、すべての号を確保すべく現在不足している号をお持ちの方を探しております。愛媛県神道青年会の歴史をしっかりと後世に伝えていくため、現物を御寄付もしくはコピーさせていただければ幸いに存じます。

ご協力賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

愛媛県神道青年会 会長 清家 貞文

<不足している号>

1~20号、25・26・28・29号

連絡先 愛媛県神道青年会事務局 (三津 嶽島神社内)

TEL: 089-951-1471 FAX: 089-951-2220

※お知り合いの神青役員にお知らせいただいてもかまいません。